

## 梅窓院通信

十夜号

No. 109  
2020/10/01

青山

## 住職挨拶

## 梅窓院第二十五世 中島 真成

今年も残すところ2か月余となりました。令和2年は新型コロナウイルス感染症が社会に大きな変化をもたらしました。皆様の生活スタイルも大きく変化されたことと存じます。そうした中、お寺としては皆様がお元気に日々を送られることを祈念するばかりです。

さて、私ども寺院の世界も世間同様、大きな変化が起きています。ご存知のように梅窓院でも各種行事は中止、大法要も通常の参拝参列はご遠慮頂いてお焼香のみとし、オンラインで参列して頂いています。人が集まるためのお寺にとって、三密回避は新しい寺院の形を模索する絶好の機会と捉え、知恵を出し合っています。

7月よりQRコード付きのお守りをお配りさせて頂いていますが、これもそのひとつ。

一方、こうしたコロナ禍ですが、樹木葬の梅林苑は大変好評で新しく梅窓院と縁を結ばせて頂く方が増えています。そして、梅林苑を囲むように作った納骨壇も人気ようです。当院は色々な形のお墓を作ってきていますが、それはまさに時代の変化の表れということです。

令和2年のコロナ禍はまさに歴史のターニングポイントになるのではないのでしょうか。



# 十夜法要

十二月二十二日（土）

十夜法要 — 午後一時〜 本堂

## 十夜法要とは

浄土宗のお寺ならではの法要で、別時念仏といって特別に日時を設定して称える念仏法要のひとつです。以前はその名の通り十日間、つまり十夜にわたり念仏を途切れることなく称えていました。今は一般的な法要と同じかたちで行っているお寺が多いようです。



## 十夜回向に関するお知らせ

十夜法要に關しましては、塔婆の申込はがきに「回向のみも一緒に申込みができます。それぞれ冥加料が異なりますのでご注意ください。また、塔婆、回向のみは「〇〇家先祖代々」のみとさせていただきますのでご了承ください。

## 十夜によせて

この頃は随分と朝夕涼しくなつて参りましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。例年以上にご自愛し、お過ごし頂きたいと思ひます。

さて、前回の『青山』で中国の善導大師ぜんどうだいしなどが纏められ、法然上人もご法語で説かれた念仏者の四つの修行法、修行態度（四修）の恭敬修きんぎょうしゆについてお話致しました。恭敬修は極楽の仏法僧を片時も忘れることなく常に尊び、身のふるまいを正すということでした。今回は改めて恭敬修について、慈恩大師じおんだいし基の『西方要訣』に具体的な念仏生活の指針が記されており、皆様にも暮らしの道しるべになろうかと思ひますので、ご紹介致します。

一 阿弥陀様等の聖者を敬う。何時も阿弥陀様のいらっしゃる西には背を向けず、涙や唾、排泄行為を西に向けない。

二 阿弥陀様のお像や經典を敬う。弥陀三尊（阿弥陀仏・観音菩薩・勢至菩薩）のお像を造り、『阿弥陀經』等を五色の袋にいれ、自ら読み他人へ教え、これらを室内に安置して、毎日六度の礼拝、懺悔を欠かさず香華を供えて供養し、特にこれを敬う。

三 信仰上の先達の人を敬う。浄土の教えを説く人があればどれほど遠くても、足を運んで、尊び親しみをもって近づき供養する。もし別の教えを信じる人であっても、決して軽んじることなく、敬うこと。軽んじる心を生じればその罪は限りない。



昨年の十夜法要様子

※十夜法要は梅窓院僧侶のみで厳修し、お塔婆は法要後に僧侶にて建てさせていただきます。  
なお、寺院内マスク着用の方に限りお焼香のみ可能ですが、ご参列・ご着席は頂けませんのでご注意ください。

塔婆回向 一霊 七千円  
回向のみ 一霊 三千円

●お申込み方法

同封はがきにご記入の上、十一月十日必着でお申込み下さい。  
はがきの書き方は同封の「書き方例」をご参照下さい。

●お支払い方法

同封の振込用紙で郵便局にてお支払いいただくか、当院受付までお持ち下さい。銀行・コンビニのお支払いはできません。  
ご不明な点は梅窓院受付までお問い合わせ下さい。

●特別ライブ・芋煮会

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止となりました。

法要の様子を **ライブ配信** 予定です。

詳しくはホームページをご覧ください。  
<https://www.baisouin.or.jp/>  
QRコードからもアクセスできます。▶



四 同じ念仏の仲間を敬う。一人では難しい修行も良い仲間と互いに助け合って、成し遂げることが出来る。同じ念仏の仲間を深く敬い合う。

五 仏法僧の三宝を敬う。今の行浅い私達は三宝の在り方に及ばなくとも、この世に現存する三宝はお救いの大きなご縁になる。仏宝とは今の世に伝わる様々な仏像で、その尊容を拝めば、罪が消えて福德が増す。ただし、本当の仏様がそこにいらっしやる気持ちで、拜むこと。少しでも軽んじる気持ちがあれば、悪が善を滅ぼす。法宝とは、悟りの世界より流れ出た名句であり、教えを理解するための助けであり、智慧の根幹である。故にすべからく仰ぎ尊ぶべきである。経典を写経して、清められた室内の箱の中に納めて厳かに敬うべし。経典を読むときには、身体と手を清潔にすること。僧宝は、聖なる出家者、菩薩の修行者、たとえ破戒の僧でも同じように、敬い軽んじないこと。

小難しいことを長々と申し訳ありません。より簡単にいえば、恭敬修とは阿弥陀様の西へ足を向けて寝られない、という気持ちを持つことです。また、三宝はもちろん、信仰の先輩、仲間、さらには信仰が異なる人をも敬って、軽んじないように諫めていきます。自分と考えの異なる人を排斥するのではなく、敬い、共生するのです。このように、考えの異なる他人を受け入れる気持ちのゆとりは、現代人も見習うべき大切な念仏者の態度であります。

さて、本年も十夜法要が近づいて参りました。今回もオンラインで中継されますので、秋の恵みに感謝し、阿弥陀様と先立つた方々へ謙虚な気持ちでお念仏をお称え頂ければ幸いです。

(法務部 中島真紹) 合掌

## ジャパンエキスパートシステム 墓苑事業部からのお知らせ

この原稿を書いている今は真夏で、お彼岸の準備や樹木葬の法要準備をしているところです。月参りに見えていた方や毎週見えていた方と墓地で会うと、皆様お元気そうでちょっとお喋りをしたりするのがささやかな楽しみの一つでした。ところが、最近はぐっと数が減りました。代わりにお電話で代参の連絡が増えました。皆様墓前でお参りしたいですね。なので私共、皆様の代わりに心を込めて手を合わせております。そう言いつつ私の亡父の墓参には全然行っておりません。田舎のため代参をしてくれる方もおりません。梅窓院にお墓をお持ちの皆様が羨ましい限りです。話は変わりますが、外苑前駅が新しくなりましたよ。道路の反対側ですがエスカレーター・エレベーターが設置されました。何十年も外苑前駅を見てきた私には感動ものです。来年のオリンピック・パラリンピックはどうなるのでしょうか？この十夜号が出る頃にはどんなニュースが新聞紙の紙面を飾っているのでしょうか？ (墓苑部: 森)

### 行事予定

#### 十夜法要

11月21日(土) 法要開始 午後1時～

※YouTubeにて法要の様子をライブ配信予定です。  
詳しくは2、3面をご覧ください。

### 墓参される皆様へ

梅窓院では、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、安全衛生対策を強化し、各所に除菌水の設置や換気の対応をしております。

ご来寺された際、手指消毒にご利用下さい。  
また、マスクのご持参・ご着用、咳エチケットなど可能な範囲にてご協力頂きますと幸いです。

体調にご不安のある方はくれぐれもご無理なさらぬようお願い致します。

大変恐縮ですが、どうぞご理解とご了承のほど、宜しくお願い致します。

### 梅窓院行事 中止について

- ◎令和2年度 仏教講座  
(4月～翌年3月までの全講座)
- ◎念仏と法話の会  
(10月・翌年2月)
- ◎文化講演会
- ◎梅🌸華コンサート



## お檀家さんに伺いました

令和2年 電話取材にて

### 「郷愁を感じるこの場所」

お墓参りは月に2回程度行っています。梅窓院はバリアフリー化が進んでいて歩きやすい上、仏教講座では、寺歴や教を学ぶことができ魅力的です。墓参をする度に亡くなった方との思い出が蘇り、学生時代の友人に連絡を取っています。今でも絆が続いており、墓参することで「繋がり」を感じています。また行事が開催されましたら足を運びたいです。

### 梅窓院SNS情報

梅窓院では最新情報を発信するため、Twitterアカウントを開設しております。ぜひチェック&フォローをお願い致します♪



#### 梅窓院公式【Twitter】

ID : @baisouin\_info

梅窓院の最新情報をお知らせ致します。



#### 梅窓院イベント情報【Twitter】

ID : @baisouin\_event

広報職員が梅窓院の日常やイベント情報を告知しています。



梅窓院公式YouTubeでは、大法要のライブ配信のほか、季節のフォトギャラリーなどもアップしています。

是非 **チャンネル登録** をお願い致します♪



発行 / 梅窓院  
発行日 / 令和2年10月1日  
発行人 / 中島 真成  
編集 / 青山文化村  
住所 / 〒107-0062 東京都港区南青山2-26-38

電話 / 03-3404-8447  
FAX / 03-3404-8107  
ホームページ / <https://www.baisouin.or.jp/>  
E-Mail / [jodo@baisouin.or.jp](mailto:jodo@baisouin.or.jp)  
題字 / 中村康隆元浄土門主 総本山知恩院第八十六世門跡